

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	山城 裕美	法人・ 事業所 の特徴	「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓のもと、20年目を迎える。併設のグループホームと共に利用者さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、本人や家族の思いに寄りそったケアに努めている。
事業所名	さわやか憩いの家春日	管理者	紺田 光二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	0人	5人	1人	0人	3人	0人	5人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
1. 事業所自己評価の確認	・改善計画が実施できるように、スタッフルームへの張り出しを行い、毎月のカンファレンスで改善計画の進捗状況を確認し、スタッフ皆で実行していく。	事業所振り返りシートはまず個人の振り返りを行い、チーム会議で改善計画を作成した。 令和6年度の事業所の改善計画の貼りだしができて無く、意識して取り組むことが出来ていなかった。	・スタッフの方々の『思い』と実行できないことへの『もどかしさ』を感じた。 ・ケア記録を毎月いただく。よく話を聞き本人の言葉を記録に残されており、家族の気付いていない点を思い知らされることがある。 ・利用者の言葉や状況をスタッフ全員で共有し大切にしていると感じる。 ・忙しい業務の中で情報共有の漏れがないよう、余裕のなさそうなスタッフには確認が出来るかの声かけも必要。 ・「改善計画の貼り出しができて無く、意識して取り組むことができていなかった」とあり意識作りが必要。 ・記録物（ケア記録、日報、議事録、ホワイトボード）と複数あり共有の幅が広く、出来るだけ集約できると良い。 ・全員のプランを1枚に集約していること、何気ない会話のなかの本人の言葉を残すことはとても良い。	・改善計画が実地できる様に貼り出すことやスタッフルームのテーブルクロスの中に挟み見えやすいようにする。カンファレンスで進捗状況を確認し意識作りをする。 ・情報の変更点などはホワイトボードに赤記入して残り日誌にも残して漏れがないようにする。
2. 事業所のしつらえ・環境	・地域の方が入りやすい事業所を目指し、駐車場の清掃を徹底していく。外の花壇や事業所内でも季節を感じられる花を飾り、利用者さんや地域の方をおもてなしの環境を作っていく。	・地域の方が入りやすい事業所を目指し、駐車場の清掃を徹底していく。外の花壇や事業所内でも季節を感じられる花を飾り、利用者さんや地域の方をおもてなしの環境を作っていく。	・いつも穏やかな雰囲気でありやすく、良い環境になっている。 ・季節の行事や地域の方との交流もよくされており、施設の入り口もとてもきれいでオープンな雰囲気で良い。 ・ハイブリッド型の運営推進会議を開催されている利点を活かし、事業所内の様子もリモートで見学できる機会を作ってみてはどうか ・地域へ積極的に出ることで顔なじみになると双方の緊張もなくなりナチュラルな関係性が構築出来ていると思う。	・これまで通り地域の方が入りやすい事業所を目指していくために挨拶や清掃の徹底、季節を感じて頂けるよう利用者さんと一緒に季節の花を育て温かい環境をつくっていく。

<p>3. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんが住まわれている地区の公民館に挨拶に行き、利用者さんが安心して家で暮らし続けられるように関係を作っていく。 ・かわら版を見て頂き、事業所を知っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての地区の公民館へは行けていないが利用者さんの地域活動を通して関係作りを行った。 ・かわら版を作成。ご挨拶、ご案内をする際に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の方でも地域行事に参加していない人も多く、利用者の参加は大変だと思う。利用しやすい方だけでもいいと思うので交流が図れたらいいと思う。 ・事業所近くの地区には利用者さんと一緒に様々な行事に参加しておられ今後も続けていって欲しい。 ・地域のイベントに積極的に参加したり、かわら版を作成しておりとても良い取り組みだと思う。 ・「地域の情報が少ないように感じる」とあるが、どのような情報があると良いか？運営推進会議で伝達した情報はスタッフに伝わっているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営推進会議で出た地域の活動や行事ごとの報告をカンファレンスにて報告し議事録をスタッフに回覧する。 ・引き続き利用者さんと地域活動を通して関係作りを行っていく。
<p>4. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や研修などの報告は画像や動画を使用しながら、伝わりやすい報告を心がける。 ・利用者さん、スタッフが地域運営推進会議に参加できるようにお誘いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や研修など実際に使った資料や報告書を回覧、カンファレンスで内容について説明している。 ・全スタッフは参加出来ていないが出来るだけその時話題にあげたい利用者さんに参加して頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットなど事実を出している。 ・鍵を掛けないケアは良いことだが負担は大きいと思う。 ・薬の管理を看護スタッフ以外にも2段階構えにしたことは良い。 ・ソフト食は本当に食欲が湧くと思った。 ・運営推進会議や支部会への参加は年間計画にして各自割り振り、先に予定を組む方が参加意識に繋がる。 ・運営推進会議では事業所の取り組みが良く見えている。 ・事業所の行事や研修など、写真や動画を沢山使い分かりやすく説明してもらっている。 ・ハイブリッド型の利点を十分に発揮している。 ・「さわやか通信」「いこい便り」にも力を入れ利用者の状況が分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や研修など実際に使った資料や報告書を回覧しカンファレンスで報告、今後も地域運営推進会議でも画像や動画を使って研修報告を行っていく。 ・地域運営推進会議にスタッフが参加できるよう勤務表に入れる。
<p>5. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPに沿った訓練を行い、スタッフの防災意識を高めていく。 ・地域の防災訓練に参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回のBCPに沿った防災訓練を行っている。感染症拡大時に感染症の小規模訓練を行うなど、その時期その時期に合わせた小規模訓練を行いスタッフの意識を高めている。 ・5月に春日中学校校区合同防災訓練に参加させて頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他県の事業所と協定を結んだり、事業所内での防災訓練を実施しておりしっかり対策を取られている。 ・「鍵を閉めないオープンな場所」なので、利用者の外出や侵入者への対応について備えが必要。 ・災害対策に地域との連携は必要不可欠。今後も積極的に参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回BCPに沿った訓練を行い、今後もスタッフの防災意識を高めていく。 ・敷地まわりの清掃や雑草の手入れを常に行い敷地を綺麗に保つことで防犯の抑止力につなげる。